

スピーチ指導勉強会

鈴木愛

8月22日、JICA/JOCV事務所において「スピーチ指導勉強会」を行いましたので、以下簡単に報告します。

今年6月の「JOCV 夏季日本語教師の会」において、2003年2月に開催された「第10回スピーチコンテスト」に関して話し合いが持たれました。その中でコンテスト出場者を多く出した先生から「スピーチ指導をどのようにすればいいのかとても悩んだ」という意見が出され、「第11回コンテスト」に向けて各自がより良いスピーチ指導ができるようにとこの勉強会の企画をしました。JOCV 隊員の参加は希望者のみとし、また他の先生方の意見を伺うため、国際交流基金の齊藤アトバイザー、日本語教師会の先生方に出席をお願いしました。

初めての試みの勉強会でしたが、それぞれが指導に関して「これでいいのだろうか?」と悩んでいたことを、みんなで共有し意見交換することとで、次の指導につながるヒントを得ることができたのではないかと思います。学生もして教師もスピコンに参加する目的を確認し、スピコンを作り上げる過程を通してお互いが成長できるような、意味のある指導を心掛けていかなければいけないということを感じました。またここで出された様々な意見は、スピーチコンテスト実行委員会においても反映していこうと考えています。

参加者：8名

齊藤アドバイザー(国際交流基金)、後藤史先生
生 フォリヌス・イヴェット先生(日本語教師
会)、浅野涼子、上羽貴子、大久保理恵、奥真
貴子、鈴木愛(JOCV 日本語教師)

..
长
区

1. 前回スピコンでの指導について
 - ① どのような指導をしたか
 - ② その際どのような問題点があったか
2. 今後の指導に向けての意見交換(審査基準の内容に沿って)
 - ① 内容・構成

「勉強会に参加して」

浅野凉子

前回のスピーチコンテストの時は「参加したいという生徒に対してどのように指導したらよいのか。」などと色々悩んでいました。でも勉強に参加することで、他の先生方も「生徒が日本語で原稿を書けない場合、どこまで手伝ったらよいのか。」「習った文法や語彙だけを使用するようにするのか、少し新しい文法、語彙も取り入れてもよいのか。」などと悩んでいること、そして色々な考えを持っていることがわかり、大変勉強になりました。一番大切なのは、生徒の心です。今年は、「生徒の気持ちを大切にしたい」とこのスピーコンを通して勉強することがあった！日本語に關してますます興味を沸かした！」と生徒が感じられるようなサポートをしていきたいと思いました。

新會員自我介绍

KOLLER 服部清子（はつとり・きよこ）さん
昨年中米より帰欧し、はや1年余が経ちました。
20年ものいろいろな国で生活してまいりましたが、
ブダペストは歴史の重みを感じさせる私の好き
な街です。この度、教師会に入会させていただく
機会を得、大変うれしく思っております。

このような立派な組織があるのは珍しく、正しく美しい日本語を通して本来の日本文化を紹介していくことのできる素晴らしい外交です。ハンガリーの方々には勿論のこと、この輪がさらに広がっていくことを願っております。深く流れる河のような力強さが世界を変えていくと思います。私共の会がその楔（くさび）のひとつとして益々発展していくことを願っております。

ソリー・イゴルさん

私は32歳の男性で、ウクライナ・リヴィウ国立工科大学の日本語教師です。埼玉県にある国際交流基金日本語国際センターに2回行ったことがあります。

学生時代から日本語だけではなく、日本武道について深い興味を持っています。居合道2段、剣道1級、空手道初段です。リヴィング市で剣道と居合道を指導し、普及に努めています。ハンガリーには剣道連盟もあり、剣道会がたくさんあるそうですね。また、剣道大会がよく行われているそうですから、ハンガリーの剣士達と剣道の先生方々と交流をつくることができたら本当に嬉しく思います。

豊福葉子(とよふく・ようこ)さん

大阪外国語大学で日本語を専攻しました。2002

月15日發行) 發行者: MJOT (担当: 若井誠二)

①内容・構成

MIJOT
張氏會館

年春卒業後、同年10月からウクライナの西にあるリヴィウ市のイヴァン・フランコ大学で、2003年2月から同市の工科大学でも日本語を教えています。2003年9月からイヴァン・フランコ大学では日本語が専門として開かれます。工科大学では日本語は副専攻語の1つとして学ばれています。現在、リヴィウには日本人は2人しかおらず、学生が日本語を使う機会が多いとはいえません。私が、みんなとても熱心に勉強しています。私も毎日ここで楽しく生活し、そして日本語を教えています。経験も浅く日本語教育に関する知識も低い私ですが、今回ハンガリー日本語教師会に入会させていだきたくさんの先生方とお知り合いになれること、勉強させていただくことを本当に嬉しく思います。どうぞよろしくお願いたします。

フエドリシンミロンさん

私は58歳の男性で、1998年にベルリンにおける第3回欧州日本語セミナーに参加したフエドリシンミロンといいます。

リヴィエ工科大学では、日本語は副専攻語の1つとして学習されており、選択必修科目です。日本語以外にも日本史、日本文学の講座も持ち、基本的な日本語を学んだ後、日本史は2年生から、日本文学は3年生から履修することができます。日本語を勉強する学生数は50人ぐらいです。講義がない土曜日の午前中は誰でも自由に日本語図書館を閲覧できるように日本語教室を開放しています。また不定期ですが、日本語に興味のある工学部等の学生のために日本文化や日本事情の講座を開くこともあります。

将来、当大学の教師、学生とハンガリーの日本語教師の方々、また学生のみなさんと、お互いの情報交換等を通じて、より深い関係を持つことができるよう、心より希望しております。

大阪外国語大学で日本語を専攻しました。2002

月15日發行) 發行者: MJOT (担当: 若井誠二)

①内容・構成

最近読んだ本

若井誠二

A magyarországi idegen nyelvi tantervek

Kurján Zsuzsa "Idegen nyelvi tantervek" 50-68 Nemzeti tankönyvkiadó 2001. (「ハンガリーにおける外国語教育カリキュラム」『外国語教育カリキュラム』)

①ハブスブルグ属国時代

他のキリスト教国同様、外国語学習と言えばラテン語の学習を意味し、その教育方法も 19 世紀後半までは古典講読に重点が置かれてきた。

②オーストリア・ハンガリー二重帝国以降、第二次世界大戦まで

ラテン語学習の重視は続いたが、ドイツ語、フランス語、英語・イタリア語学習も盛んとなり、教育方法にも進歩的な考えが導入された。例えば、1887 年に上級初等教育機関向けに初めて作られた外国語教育カリキュラムでは、「外国語学習を通じて学習者の考えを知る」「カリキュラムはあくまでも枠組み。教師が学習者に合わせて教える量を設定する」と書かれ、1914 年の同機関向けカリキュラムでは更に「学習者の能力や進度に合わせてクラス分けをする」「文法より会話を重視」「教える文は必要以上に長くしない」「教師は学習者のやる気を引き出し楽しい授業を心がける」「上級クラスに関しては、彼らの関心に合わせ細かい部分にも気を配る」と、会話能力中心、興味の引き起こし・動機づけ、レベル別・個別対応などに配慮するよう記述が見られる。また、1927 年のプログラムでは「文法の授業を別に設定するのは、教師が気持を入れず機械的に外国語を教えようと

している現れ」と評し、学習者の興味の引き出し、個々の人間の成長の 1 つとしての語学役割が強調された。1930 年代に入ると、母語を覚えるように学習言語を習得することを目標とした直説法が導入されるようになった。そして教師は、学習者がどうやって会話能力を身につけるかを観察し、それを授業に活かすことも求められた。

③共産主義時代

1949 年からはロシア語が必修となった。教育方法として文法中心と直説法の折衷型を目指し

たが、この時期の特徴は何と言っても学習語彙数を基準にした到達目標設定システムの確立であった。この目標達成システムは非常に細かいもので、1 週間ごとの進度まできちんと決められ、教科書もこの目標到達システムを遂行するために国の指導で作られたものがあった。1970 年代に入り、外国語の早期学習に注目が集まり、1978 年には中等教育の最後の 2 年間に限っては語学が選択科目になるなど、学習選択の自由化が進み、目標達成システムにおける学習語彙数が減るなどの変化はあったが、目標達成システムに縛られたカリキュラムという点においては変化がなかった。1980 年代に入るとコミュニケーションカテゴリーな考え方が現れ、教科書も選べるようになった他、外国語学習の在り方が、社会的なニーズとずれている点も指摘されるようになってきた。しかし、それらの問題も目標達成システムの改善で解決しようとした。

④社会体制転換以降

1989 年の社会体制転換以降、国際コミュニケーションのための外国語能力の重要性が指摘されるようになったが、それと共にハンガリー人の外国語能力の低さも問題視されるようになってきた。(例えば、最近 (2001 年) の国勢調査でも「最低 1 つの外国語を使って、相手の言うことが理解でき、自分の意見を相手に理解させることができる」人は 20% に達していない。(EU 諸国平均は 50%) この事態に対応するため、1998 年に導入された Nemzeti Alap Tanterv (国家基本カリキュラム) では、大枠としての達成目標はあるものの、学校毎に外国語の授業数やカリキュラムを設定できるようにして、学習者の個別化や社会のニーズに対応できるようにした。また、学習外国語数もそれまでの 2 カ国語から、「基本的に 1 つとすると、学習者のニーズに合わせて複数の外国語も学習できる」と変更をした。(しかしその後も思うような成果が得られていないため、2003 年現在「(外国語学習が進まないのは、一度に複数の外国語を学習するからだとして) 初等・中等教育機関での学習外国語数を 1 つとし、英語学習に集中させる」などの案が政府から出されるなど試行錯誤が続いている。)

Sociopragmatics

伊東隆作

Sociopragmatics ってなんだ? と思った方もいると思いますが、まず簡単にこの説明をしなから自分の意見を述べたいと思います。

まず、Sociopragmatics という言葉の意味ですが、よく言われる文化と言語行動と考えられる部分と言えます。

Pragmatics というのは日本語では語用論 (言葉を使うときのルールに注目するもの) ですが、その中には 2 つのルールがあるといわれています。その内の 1 つは socio-pragmatic rules で、もう 1 つは pragma-linguistic rules です。この 2 つは社会言語能力と言われることもあります。

例えば「ほめる」という言語行動があります。1 では「誰をほめるのか?」「なにをほめるのか?」という点が焦点に当てられます。例えば、「先生! 今日の授業大変良かったです!」と言うのがだめだとされている理由はこのルールに違反しているからだと説明できます。

一方、2 では、「どの言葉を使うのか?」に焦点が当てられます。「先生! 今日パーティーに来る?」という表現の「来る」が「ちよつと先生」には使えない表現なのではないか? という点でこのルールに違反だとされます。

以上の点から、2 の部分には文法能力が必要ですが、1 の部分には文法能力は必要ないと考えられます。ですから短期間日本人と接触するような非母語話者には文法能力ではない 1 の部分への支援が必要なのでは? といわれています。

2 (文法的能力) をつかわず 1 だけでコミュニケーションを乗り切った最近の例として、ハワイ沖で日本の水産高校の実習船とアメリカの潜水艦の衝突事故での、アメリカ側の謝罪があります。日本を吊問に訪れた艦長は日本語をしゃべりませんでした。そこで彼は英語で追悼文を読んだわけですが、その中身は本来アメリカでは考えられない日本的な謝罪の表現がふんだんに含まれていました。つまり、彼は英語を使いながら、日本の socio-pragmatic rules、つまり「何に対して謝るのか」ということを考えたわけです。その結果、彼の追悼文は一定の評価を受けることができました。

さてその部分をどうやって授業に取り入れるかですが、おそらく「文化を教える!」という方向性をとると、どうしても文化というものが固定的なものとして捉えられてしまいがちになるようです。また、そこで示される文化とステレオタイプであり、同化を強制してしまうものになるかもしれません。

同じように、例えばモデル会話を提示して学習者に刷り込んでいくというの、やっぱりそれは文化を固定的に捉えていることだと思います。

自分自身としては、この問題に関しては「まず学習者に自分とは異なる文化が存在していること」、そして「その文化の価値は同じであること」に気づいてもらうことが最優先事項だと思っています。そして、文化への注目が高まったところで、実際に日本人と接触するなり、先程のハワイでの事故の例を見せるなりして、自分のハワイでの事故の例を見せるなりして、自分なりに考えてもらったらいと思っています。もしくは、いままで外国人 (日本人とは限らない) と接触した経験話をし合いながら、その辺に気づいていくというようなタスクでもいいと思います。

ここで使われる文化! という言葉はお茶や生け花などの伝統文化とは少し違うということも大切な点で、その辺ももしかすると学習者の人たちは間違えて捉えてしまいかもしれないので気を付けたいところです。

またそんな日本人のメンタリティーをなんでもハンガリー人が使わなければいけないのか? というアイデンティティーに関する反発も当然あると思いますが、そのときは強く強要せず、それが引き起こすリスクを教えてあげること、あとは学習者がそのリスクもしくはそこから手に入られる利益と個人のアイデンティティーをはかりにかけて使い分けることができるかどうかではないでしょうか。日本人同士でもリスクがないときは、他人のルールなんか無視してやりたい放題にふるまうわけですから。

語彙集販売のお知らせ

価格は 1 冊 850ft. 購入希望者は商科大学 (467-7965, 467-7961)、または 相馬 (shoko@hu.inter.net 326-0898) まで。相馬荘子